

地域の課題について

(1) 「地域の課題」の中で、 緑が丘まち協として優先的に 取り組む課題について	(2) (1) で記入した課題の解決に向けた事業の検討について
■ 福祉、子育て、健康づくり、地域の支え合いの強化	
・ 福祉支援	【高齢者宅の除雪支援事業】 地区では南高生による包括支援センターを通して依頼された高齢者宅の除雪ボランティアを行っているため、その支援活動を5地区に広げる。
・ 地域住民の心と身体の健康づくり	【心と身体の健康づくり事業】 1 導入的な意味として、最初に「健康長寿とロコモティブシンドローム」参加者の過去データを見直し、参加者のロコモティブシンドロームに関する経年的な傾向を明らかにする。 →地域の傾向として示せるか？ 2 高齢者の「心の健康」に着目した企画、取組ができないかを検討する。 3 高齢者の心と身体の両面に着目し、「心と身体の健康」が向上するような取組を検討する。 4 取組には小・中学生、高校生、専門学校生、大学生に仲間になってもらい、世代間交流する。 5 この取組によって、①「心と身体の健康」が向上し、②参加者がそれぞれの世代、そして自分自身が地域に暮らし、存在していることの意義を認識できるようになる。
・ 地域ネットワーク形成による健康づくり事業（健康長寿とロコモティブシンドローム）の継続	
■ 基本的な生活環境の確保、環境保全、事故・犯罪の防止、防災	
・ 緑が丘地域防災事業（防災リーダー研修会、遊んで学ぶ！防災キッズ）の継続	
■ 郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化（世代間交流）	
・ 多世代（世代間）交流 ・ 地域内交流の活性化 ・ 地域でのつながりを増やす取組 ・ 5地区市民委員会交流	【多世代ふれあい交流事業】 ・ 音楽祭、文化祭、花火大会 ・ ニュースポーツ競技（スポーツクラブ指導による） ・ ものづくり（紙細工・木工細工・万華鏡など） 【高齢者から子供まで参加できるイベント】 (例) スポーツイベント、芋掘り、その他 【全世代が交流できる事業】 → 全世代～乳幼児・児童、中高生、大学・専門学生、子育て世代、子育て終了・高齢者 ※各世代が集まって、緑が丘地区に関することや日常生活における出来事を話し合う。 →イメージとしては千代田地区の「オレンジカフェ」のような自由に語り合える場をつくる。 【認知症や町内会の活動をテーマにしたフォーラム】 (内 容) 講話や寸劇、人形劇、映画上映など (対象者) 小・中学生とその保護者 ※まち協委員のほか、大学生や近隣の福祉施設等にも運営協力をしてもらう。 【あいさつ運動・見守り活動】 月1日～2日実施（顔見知りになる） 【緑が丘地域交流活性化事業】 ・ 地域ごとの散歩道の設定（短距離） ・ 緑が丘地区を網羅した散歩道の設定（長距離） ・ 年2回程度のウォーキング集会の開催 ・ 地域の施設を回るウォークラリー ・ 節分・ひな祭りなど日本の年中行事に合わせたイベント ・ 高齢者が小中高生などに地域の昔の様子を語る など 【5地区対抗競技】 (例) 紙飛行機記録会・長靴飛ばし記録会・雪上競技など 【各市民委員会対抗イベント】 (例) スポーツイベント、囲碁、将棋、その他 【丘の上市民委員会対抗大運動会】 幼児から高齢者まで参加できる種目で実施（老若男女が参加可能、大怪我等の危険回避）